

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103452		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい矢賀		
所在地	〒732-0042 広島市東区矢賀6丁目4番34号（電話）082-510-5088		
自己評価作成日	平成31年2月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103452-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年3月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

新築4年目の2ユニットのグループホームです。近くの道沿いには桜並木があり、春にはお花見が楽しめます。私たちは利用者様の立場に立った優しい対応と笑顔が見られるような心に寄り添ったケアを心掛けています。又、医師や看護師の協力のもとホームでの看取りを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

車が行き交う通りから、少し脇道に入った静かな環境の地域に溶け込んだ、同事業所は2階建ての新しい建物である。事業所は入居を必要とされる利用者を、出来る限り受け入れる用意が有る。穏やかな管理者は利用者へ、何が出来るかを思い続け今の支援体制が有る。利用者の平均年齢は高く、暮らしの中でも出来る事、出来ない事を見極めながら日々支援を行っている。事業所は、1ユニットで運営されているため、職員は利用者本位の支援を行い、気配りだけでなく心優しさが伝わってくる支援が行われている。また利用者が重度化した場合、家族と共に泊まり込む等し、理念【目標】である「利用者の心に添ったケア」を実践している。管理者と職員は志が高く常に寄り添うケアサービスを行う為に努力を続けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	美泉開設当初よりの理念をもとに、事業所で年間目標を立て取り組んでいる。毎朝、申し送り時に唱和し共有に努め、日々の現場に活かせるよう努力している。	法人理念の他に、事業所は目標(利用者の心に添ったケア・整理整頓)を定め、利用者本位の支援・地域との共生を掲げ、実践に活かせる取り組みがされている。職員は研修や話し合いを通して、利用者の暮らしを支援出来る様日々努力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入している。民生委員さんが花や野菜の苗を持参して下さり、一緒に畑や花壇に植えて楽しんでいる。	開設時より地域とは良好な関係がある。また地域の行事やイベントにも参加し、町内の祭りの神輿は、事業所の敷地内まで担いでもらい利用者に喜ばれている。職員は地域とのつきあいの大切さを理解しながら、日々地域との付き合いに取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	散歩時に近所の方に声をかけられ質問を受けたり、推進会議での質問にお答えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所での行事や活動状況をお話ししている。町内の行事予定などをお聞きし、参加の予定などを立てている。	会議は定期的に行われ関係者が出席し、会議の内容は活動報告や今後の予定、利用者の状況の報告も行い、地域包括支援センターの担当者や民生委員の意見を参考に、今後のサービスに活かす取り組みがある。	会議は関係者の出席はあるが、会議の核となる本人や家族の出席が無い。また会議録の記載方法の改善や、不参加の家族に会議録を送付したり、出席を促す取り組みにも期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に地域包括支援センターより参加して頂き日頃の様子を伝えていている。市主催の研修や集団指導に参加している。	日頃から報告や相談事が有れば、法人を通して市町と協力関係を築く努力はされている。また地域包括センターの担当者に、運営推進会議に参加してもらう等、積極的に取り組んでいる。職員は行政主催の研修等に出席し、更なる関係の構築に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束排除宣言を掲げ、日々のケアに取り組んでいる。マニュアルをもとに研修を行い理解を深めている。昼間は玄関を施錠せず開放している。</p>	<p>玄関は日中は施錠していない。夜間はナースコールや利用者の状態によってはセンサーマットを使用しているが、職員の見守りを重視し、拘束しないケアに取り組んでいる。言葉による行動の制限も、職員間で注意をしながら支援する取り組みがある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員全員が研修を受け、お互いに注意し合い虐待防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修で学んでいる。必要時上司に報告、相談している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には重要事項説明書や契約書により、分かりやすく説明を行っている。理解し納得して頂けるまで説明している。不安や疑問に思われることはいつでも聞いて頂けることを話している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時にご家族より要望や意見を伺っている。玄関に意見箱を設置し直接話しにくい事が伝えられるようにしている。施設代表者に連絡される方もある。改善すべきことや気を付ける事など管理者会議で話し合い、現場の運営に活かしている。</p>	<p>利用者の多くの家族は、面会のための来所が有り、直接意見を聞く機会は設けているが、運営に対しての意見や苦情・要望は殆どない。来所が難しい家族には電話等で連絡している。職員は意見・要望が有れば運営に反映するよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りやミーティングで意見を聞く機会を設けている。又年1回面談を行い職場環境の改善などに取り組んでいる。	運営に関して提案が有る場合は、管理者と職員がミーティング時に話し合い、意見交換を行いながら改善に繋げるようしている。事案によっては管理者が法人の代表に提案し、意見の反映に繋がるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	研修や勉強会の為に勤務時間の調整を行ったり、資格取得者にはお祝いをし、努力をたたえ他の職員の励みになるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	資格の取得や社内外の研修への奨励をしている。参加に伴い、勤務の調整を行うなど配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市や地域の研修会に参加し他事業所との交流を図り、意見など取り入れサービス向上に努力している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に訪問し、本人や家族より情報を得ている。施設の見学に来て頂き説明し、質問にお答えしている。お試しで泊まって頂く事もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面接や見学時に、困りごとや不安ごとをお聞きし、対応しながら入居にあたっての準備を進めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>面接で得た情報で必要時には上司に相談し、他のサービスの説明も行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>一緒に生活するという思いで共に作業や家事を行っている。料理の仕方や味付けを相談しその方の強みが励みになるよう関わっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ホームでの様子を面会時やお手紙でお伝えしている。困りごとなど、相談している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人の馴染みの病院や理容院に付添って出かけている。面会時にはお部屋でゆっくりお話しできるよう配慮している。</p>	<p>入所時に馴染みの人や場所について聞き取り記録している。時々近所の知人が面会に来たり、近くの理容院やコンビニに出掛け、顔馴染みになる等しながら関係の継続を大切にしている。職員は、途切れない関係の継続に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	相性を考え、テーブルやソファの席を決めている。職員が間に入り利用者同士がかかわりあえるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の施設や病院へ転居時には、情報提供や物品準備支援をしている。退去後も相談に乗る場合もある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前面接や見学時に希望や意向をお聞きし把握に努めている。入居後も会話や行動から把握に努めている。会話が困難な場合は、表情などから思いをくみ取り、話し合いを行っている。	利用者の思いを把握するため、入居前に家族や関係者から話を聞き取り、日々の暮らしの記録も役立て支援に努めている。その結果歩けるようになった利用者もいる。希望の把握が困難な場合は、職員は話し合いを行い、利用者のニーズに合った支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族、関係者から聞き取りをし把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々共に生活する中で、状況や様子を記録し、アセスメントすることで現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式でアセスメントをしている。面会時にホームでの様子をお伝えしながら意見を聞き、主治医や職員の意見も取り入れ介護計画を作成している。</p>	<p>利用者や家族の要望を把握し、月に1回モニタリングは行われ、介護計画は4ヶ月に1回作成している。職員は現状に即した介護計画を常に確認し、長谷川式、センター方式を使用しながら支援を行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日個々の生活日誌に生活の様子や体調、気づきを記録し介護計画につなげている。大事なことは申し送りノートに記録し、全職員がより把握出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>希望があれば通院や入院時職員が付添、対応している。入院中も洗濯物を届けるなどしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近くの商店に買い物に出かけたり、公園に散歩に出かけている。公園では近所の子供たちを眺めたり声をかけたりされている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の主治医を希望される場合は継続して頂き、特にない場合は本人、家族に納得して頂き家庭医の診療を受けて頂いている。</p>	<p>利用者の多くが事業所の協力医療機関をかかりつけ医とし、信頼が厚く往診は定期的に行われている。また他科への受診も必要に応じて受けている。管理者と他に1名看護師（介護と兼業）が居り、有事の時はかかりつけ医と共に24時間体制で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日頃の様子を毎日報告している。体調不良時やいつもと様子が違う時にはすぐに伝え対応している。必要時には受診に付き添っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には職員が付添、様子を伝えている。ほぼ毎日面会に行き、必要時には洗濯や食事介助を行っている。退院に向けての話し合いを早期より行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に看取りまで行うことを説明している。重度化した場合、本人、家族の意向を確認し、主治医や看護師と連携し対応している。</p>	<p>入所時に家族に説明は行われ、重度化した場合改めて説明している。看取りになると協力医は必要に応じて往診し、管理者は家族と話し合い、職員は管理者と共に情報を共有しながら、例えば本人が好んでいたCDを掛けたり、しっかり声掛けをする等チームで支援に取り組んでいる</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故発生時対応マニュアルを作成し、毎年研修し対応を学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を年二回行っている。法人全体で連絡体制を組んでおり、災害時用の備蓄を行っている。地域の方とは推進会議で話す程度で、協定は締結していない。</p>	<p>年2回利用者と共に避難訓練（1回は夜間想定）は行なわれている。ハザードマップでの事業所の位置や水の流れ等を把握し、備蓄も確保している。また本部とは有事の時の協力体制は整っている。職員は市町の防災研修に出席する等災害対策に取り組んでいる。</p>	<p>避難訓練は年2回行われているが、事業所だけの取り組みではなく、消防署と共に行い研修等を通して更なる取り組みに繋げて欲しい。また運営推進会議を通じて地域住民と協力体制を整えるための取り組みにも期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	優しい丁寧な言葉かけで対応している。失禁時にはさりげなく居室や浴室にお連れするなど、配慮している。	プライバシーを損ねない言葉かけも含め、日々の支援に努めている。職員は新任研修や事業所内での会議の中で、接遇や人格の尊重についての知識や対応を確認し、情報を共有しながら誇りやプライバシーを損ねないサービスに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活の中で、飲み物や食べ物の量、食べたいもの、着たい服、したい事など自分で考え決定できる場面を設定している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	毎日の日課はほぼ決まっているが、その中でご自分のしたい事など体調に合わせて出来るよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日頃よりその人らしい服装で過ごせるよう支援している。お化粧が好きな方は毎日して頂き、継続できるよう声掛けをしている。外出時やお誕生日やお正月には少しおしゃれして頂き楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節や行事食を取り入れ、お誕生日には好みを聞き準備し楽しみのある食事を提供している。調理や盛り付け、片付けなど一緒に行っている。	利用者の希望で毎週月・木は朝パン食にしている。毎週火曜日は「お刺身の日」にしており利用者は喜んでいいる。また正月はお節料理、花見は弁当を作る等、季節を感じられる食事を工夫している。食事環境に於いてもイスやテーブルの高さや配置を考慮し、楽しい食事出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食、摂取量や様子を観察し記録している。摂取状況に合わせ食材の大きさや形、形状など個々に合わせ、準備し提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っている。自力困難な方は介助している。ケアを行いながら、観察をおこなっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりに合わせたトイレ誘導を行っている。夜間は可能な限り誘導できよう、ポータブルトイレを設置している。</p>	<p>日中のトイレ誘導は、リハビリも兼ねて出来る限り歩いて誘導している。時には二人で対応する等し、残存機能を確保出来る様にサポートし、現状維持に努めている。排便も薬に頼らず、運動と共に食事を工夫しながら排泄の自立支援に向けて努力している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表で排便状況を確認している。散歩や運動を心掛けまた起床時に牛乳を飲用して頂き自然排便を心掛けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴できる。最低でも週三回は入浴して頂いている。季節の湯、菖蒲湯や柚子湯を楽しんで頂いている。</p>	<p>基本的には週3回入浴しているが、利用者楽しく入浴をして貰うために、入りたくない日には無理をせず翌日にする等している。入浴中に身体を観察し、例えば皮膚に異常がある場合は、管理者（看護師）や医師の指示を仰ぎ、安心して気持ちのよい入浴が出来るよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や希望により食後一時間程 度午睡して頂いている。定期的 にシーツ交換し天気の良い日 には布団を干し気持ちよく眠 れるよう支援している。日中は 活動をしっかりと、夜間の安眠 へとつなげている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の説明書やお薬手帳により理 解に努めている。服薬時には名 前、日にちを確認し服薬して頂 いている。臨時薬服用時には、 特に体調の変化に注意してい る。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの得意な事、できる 事を把握しその力が発揮できる よう関わっている。おいしいも のを食べて頂いたり、好きな歌 番組を視聴して頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>体調や天候に合わせて、散歩 や買い物に出かけている。希 望時には家族と協力し、外食 やショッピングに出かけて頂 いている。</p>	<p>日頃は近くにある公園へ出掛 けたり、利用者の状態を考慮 しながら、外出を支援してい る。近くのコンビニに買い物 を兼ねて外出する様にもして いる。また家族等が希望すれ ばお正月に外泊する利用者も 有り、積極的に外出を支援す る体制は構築されている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>預り金や立替金として、買い 物に出かけたとき支払いをし て頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時には電話の子機を使用し、お話しして頂いている。手紙の投函に付き添ったり、代わりに投函している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の花や壁画、手作業作品を飾り季節を感じられるようにしている。ホーム全体が明るくなり過ぎないように、自然の明かりで過ごせるよう配慮している。臭いがこもらないように、換気を付けている。</p>	<p>清潔で空調設備も完備されたリビングは、職員や住人の和やかな団らんがある。テレビ等の音が無くても程よい生活音が心地良さを感じさせ、みんなと一緒にいる安心感が生まれる共用空間を作りだしている。職員は日差しの良い日には、レースのカーテンを開け利用者に日光浴をしてもらう等工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファやテーブルなど個々で過ごせるように、離れた場所に設置している。みなさんそれぞれ好みの場所で過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人や家族と相談し自宅で使い慣れた家具を持参して頂き、お部屋を作っている。家族の写真や趣味のカメラや飾り物を飾り、落ち着ける部屋づくりを心掛けている。</p>	<p>居室は大きな窓から心地良い日差しが入る。利用者の中には、仏壇や使い慣れたタンスを持ち込まれ、自分が暮し易い部屋作りを職員と共に行っている。また各居室入り口は名札を使用せず、利用者の中には手作りの飾り物を使用している。廊下は広く安全で過ごし易い工夫がある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下や階段には手すりを設置し、玄関には座って靴が履けるよう椅子を設置している。目印をお部屋の入口に付け自分のお部屋がわかるようにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい矢賀

作成日 令和元年5月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災以外の災害に対する、消防や地域との更なる協力体制の検討。	消防署や地域と、協力体制について話し合い、災害対策の強化を図る。	・消防署立ち合いにて避難訓練をする。 ・災害対策についての研修。 ・運営推進会議にて災害時の対応や、お互いの協力体制について話し合いをする。	1年
2	4	運営推進会議への出席者が限られている。	運営推進会への家族の参加。	・運営推進会議の日程のお知らせとお誘いをする。	1年
			会議録の記載をわかりやすくする。	・会議録の書式変更。 ・内容を詳しく記録する。	1年
3					
4					
5					
6					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。